

トレッドミル（運動負荷試験）検査

糖尿病の合併症の一つ、動脈硬化の目安となる検査です。

動脈硬化によって心臓の冠動脈の内腔が狭くなり、その結果心臓の筋肉への血流が少なくなることにより酸素と栄養が足りなくなり“心筋虚血”の状態になります。これは、狭心症や心筋梗塞を起こす可能性があります。その可能性を調べる検査の一つです。

検査方法は絵のように、ベルトコンベアの上を心電図を付けたまま歩いて頂きます。始めはゆっくり歩く感じで、だんだん速くなっていきます。特に胸の症状が無ければ年齢に応じた目標心拍数に到達するまで運動します。

